

◆奨励賞◆

次女の反抗期と私の感謝

浜 岳 中 学 校 二 年

山 口 夏

ついに始まった次女の反抗期。自分の思い通りにできないと怒るし、一緒に写真も撮ってくれない。私は次女が大好きだけど、次女は私が嫌いだと言っている。そんな次女との夏休みのある一日の話。

その日は、家族とプールに遊びに行った。水着に着がえた妹たちがすごく可愛かったから写真を撮りたいとお願いした。次女にいやと言われた。思ってたけど、

「いいよ。」

と言ってくれた。私はその言葉がすごく嬉しかった。その写真は妹たちが太陽のようにキラキラして見えた。

撮り終わって私たちは外のプールに入って遊んでいた。少し風が吹いた時、ボールが次女の近くに飛んできた。次女は、ボールを男の子に返してあげた。

「ありがとう。」

と男の子が感謝をして帰った。それを聞いた次女は少し嬉しそうだった。

その後、次女は反抗はしなかった。むしろ私たちに優しくしてくれた。三女とのけんかもなく、仲良くしていた。こんな次女を見るのは久しぶりだと感じた。次女も私たちも幸せだった。

私は、この日を通して学んだことがある。それは、「感謝をすることは大

切」だということ。あたり前だけど意外とできていなかった。次女は反抗期だから何かお願いされてもいらして「何でうちがやるの。」と言いなからやるから私はその時何も言わないようにしていた。もっと怒らせたくないから。でも、それは逆効果だと気づいた。同時に感謝をしたら良いと学んだ。私は、次女が写真を撮ってくれても感謝するのを忘れていた。だから私はこれから、どんな時でも感謝できる人になる。

この日は、私を変えてくれた一日。そして次女をもっと大好きになった一日。反抗期だからと思うず、ちゃんと感謝をするということをすべて心の底からよかったと思う。この日学んだことは、一生大切にする。今、私は次女に感謝を伝えられている。